

ごみを分ける大切さ



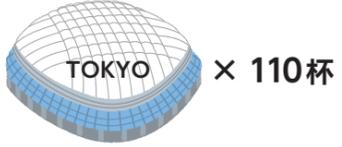
私たちの普段の生活の中で、毎日出るごみ。ごみは、はじめから「ごみ」として生まれたものではありません。私たちが使用し、その結果としてごみになるのです。完全分別が始まり20年。現在の錦江町のごみ事情や分別を行う大切さなどをお伝えします。

日本で本格的な分別が始まったのは20年前

バブル期まで大量生産、大量消費、大量廃棄を行ってきた日本。公害や処分場など多くの問題が発生したことから、平成12年に「循環型社会形成推進基本法」が制定されました。その中で「3R（発生抑制：Reduce、リデュース、再生利用：Reuse、リユース、再生利用：Recycle）」が推進されています。リニューアブルは、石油など枯渇する資源で作られている製品から植物など再生する資源で作る製品に替えていく考え方です。

日本全国で1年間に
出るごみの量
約4,095万t

東京ドーム約110杯分

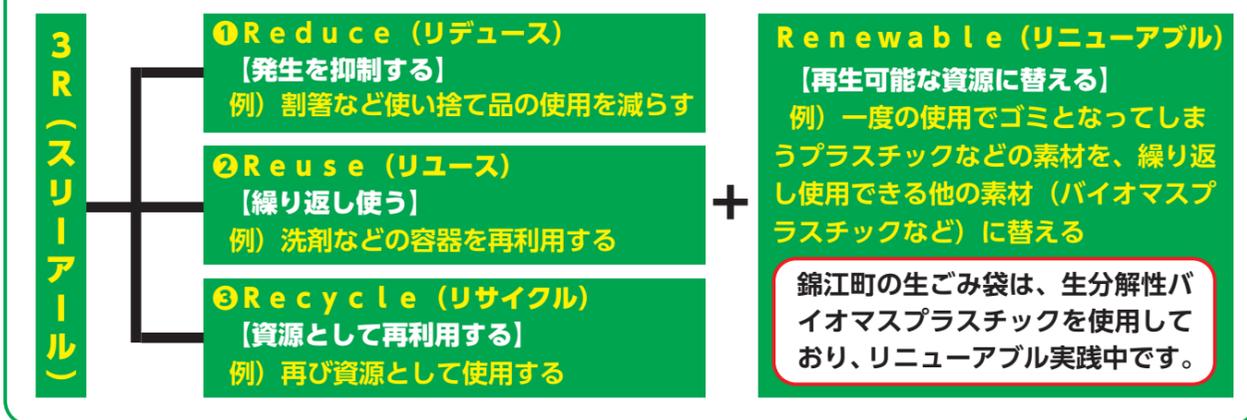


国民1人が1日に出すごみの量
約890g

りんご約3個分



3R+リニューアブル



錦江町のごみ排出量を 県内の市町村と比較

錦江町の1人1日当たりのごみ総排出量は641gで、ランキングでは2位。町全体の可燃ごみの量は、平成17年度は1,667t、令和4年度は882tで約47%減少している状況です。人口は約38%減少していることから、1人当たりのごみの排出量が減っていることがわかります。これも皆さんの日頃から、ごみの分別と減量に向けた協力によるものです。

県内リデュースランキング(令和3年度)

順位	市町村名	1人1日当りの排出量
1	南大隅町	588 g
2	錦江町	641 g
3	天城町	660 g
4	十島村	661 g
5	曾於市	676 g
県平均		900 g

※事業系ごみも含めた量

錦江町のリサイクル率 を県内の市町村と比較

リサイクル率は39.8%で、ランキングでは6位。皆さんによるプラスチックや紙製容器などの分別、生ごみ堆肥化の取り組みなどで上位に位置しています。錦江町と南大隅町の家庭から出る生ごみは、JA根占支所堆肥センターに集められ、牛ふんや鶏ふんなどを混ぜて「なんぐうマイティ」という肥料に生まれ変わります。一方、大崎町と志布志市は全国的にもリサイクルが有名な町です。大崎町は生ごみ堆肥化の他に、家庭から出た天ぷら油も回収し

県内リサイクル率ランキング (令和3年度)

順位	市町村名	リサイクル率
1	大崎町	81.6%
2	志布志市	74.3%
3	屋久島町	57.9%
4	東串良町	50.6%
5	垂水市	46.5%
6	錦江町	39.8%
県平均		16.0%

全国リサイクル率ランキング (令和3年度)

順位	市町村名	リサイクル率
1	豊浦町 (北海道)	87.1%
2	大崎町	81.6%
3	上勝町 (徳島県)	79.9%
4	志布志市	74.3%
5	小平町 (北海道)	66.1%

で、環境にやさしい石けん作りなどに取り組んでいます。ごみを「ごみ」として処分するのでなく、有効な資源として活用することが大切です。

ごみ分別の検査状況

ペットボトルや紙製容器包装、プラスチック製容器包装の3品目で、分別が正しく行われているか年に1回、検査が行われます。3品目の分別についても錦江町はここ数年県内トップクラス。分別収集が始まって以来、皆さんが

3年間のごみ分別検査状況 (3品目)

品名	令和5年度	令和4年度	令和3年度	備考
ペットボトル	Aランク (93点)	Aランク (86点)	Aランク (90点)	100点満点
紙製容器	Aランク (55点)	Aランク (55点)	Aランク (53点)	55点満点
プラスチック	検査結果待ち	A・A・Aランク	D・A・Aランク	3品目評価

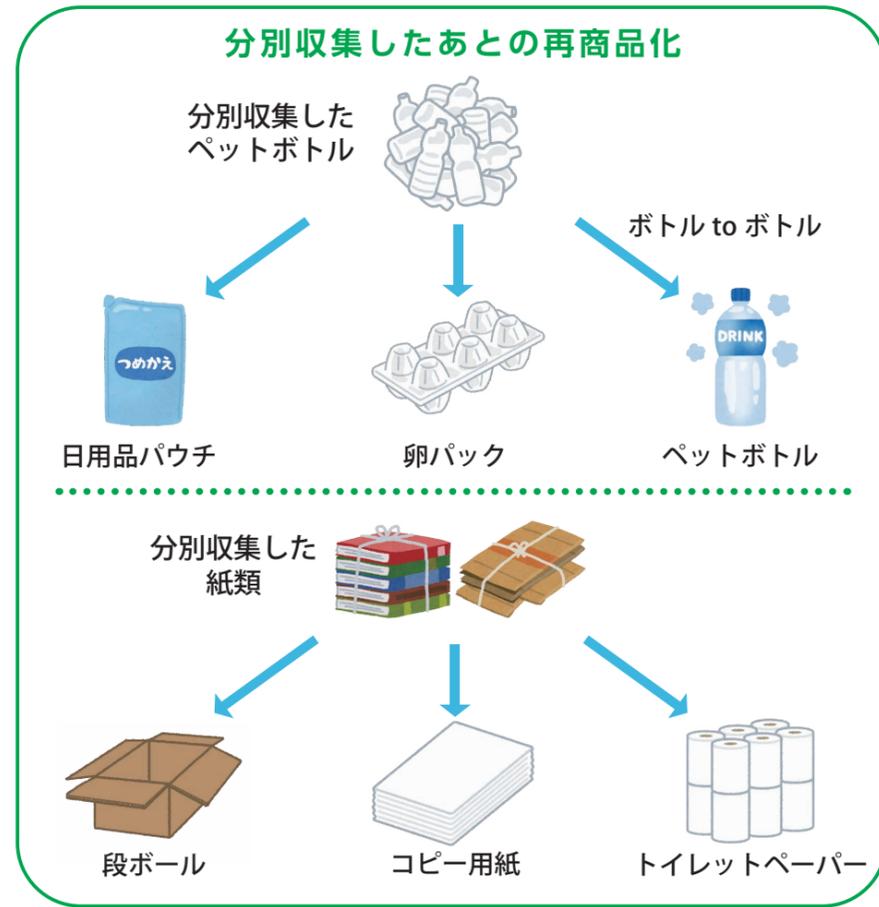
↑ 異物混入有

努力してきた証拠です。ただし、最近では新型コロナウイルスの関係で可燃ごみの分別検査を行っていません。可燃ごみの中に、分別できる物が混入していることも見受けられます。更なる分別で、Aランクを維持しましょう。

分別後の再商品化

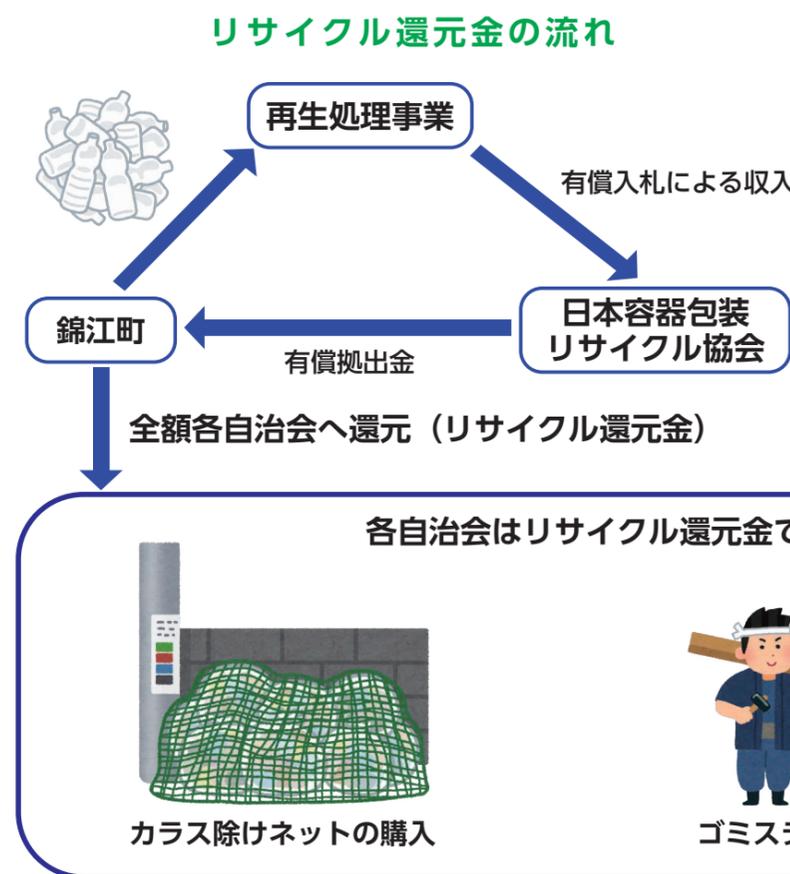
ペットボトルは再商品化事業者が製造した再生フレイクや再生ペレットを原料として、繊維製品、シート製品、成形製品などのリサイクル製品を製造します。また、

高度な処理により、飲料や特定調味料のPETボトル用樹脂に戻すこともあります。この方式を「ボトルtoボトル」といいます。紙類は製紙工場に搬入され特殊加工を施し、紙加工工場でさまざまな紙製品に生まれ変わります。



リサイクル還元金

私たちが分別したペットボトルは再商品化され有償拠出金として町にお金が返ってきます。そのお金を毎年各自治会へ還元（リサイクル還元金）して、ゴミステーションの維持管理などに充てられています。



リサイクル還元金の金額

錦江町ではペットボトルや空き缶・ガラス瓶、紙類によるリサイクル還元金の収入があります。令和4年度のペットボトル価格は前年度より3.7倍上昇しています。主な要因は石油価格が上昇したことで、プラ樹脂全体の新品価格が高騰した影響によるもの。各自治会の貴重な収入源になるため、安易にコンビニなどには捨てず、分別して自治会内のゴミステーションへ出ししましょう。

リサイクル還元金収入額 (令和4年度)

品名	収入金額
ペットボトル	1,460,000円
空き缶・ビン	350,976円
紙類	76,520円

ごみの分別で困った時

ごみの分別で困った場合やごみの収集日が分からなくなった時などは無料の「錦江町ごみ分別アプリ」をご活用ください。簡単にごみ分別の検索や町からのお知らせなどが確認できます。毎月3,000回ほどのアクセス数があり、多くの方が利用されています。また、本庁住民税務課と支所住民生活課窓口では、「錦江町ごみ分別一覧表」を配布しています。

ごみ削減は重要課題

2015年の国連サミットで、誰一人取り残すことなく「持続可能な多様性のある社会」の実現を目指すために、「世界共通の目標とSDGs (Sustainable Development Goals)」が定められました。世界で起きている天然資源の枯渇や貧困の拡大など多くの問題を2030年までに解決するため、17項目の目標から構成されています。

今後も更なる分別を

その中の目標12「持続可能な消費と生産（つくる責任・使う責任）」において、ごみの発生を大幅に削減することがあげられています。ごみ焼却や埋め立てなどによる環境への負担軽減や次世代に豊かな自然を引き継いでいくためにも、ごみ削減は私たちがすぐに取り組むべき重要な課題です。

錦江町の分別状況は県内ランキングでも上位に位置することが、

おわかりいただけたと思います。これは皆さんが正しい分別への協力によるものです。また、錦江町のごみステーションはそれぞれの自治会が管理しています。分別がされていないごみ袋を、再度分別してくださっている自治会役員さんも多数いらっしゃいます。

豊かな自然を引き継ぎ、役員さんの負担を減らすためにも、今後も更なる分別に協力いただくようよろしく願います。一人の力は小さくとも、その輪は次第に広がっていきます。

「錦江町ごみ分別アプリ」利用方法

① QRコードを読み取り、アプリをインストール

Androidの方はこちら



iosの方はこちら



② 「ごみ収集の地区」で地区を選択して登録終了

